

2024年度 学校評価結果のまとめ

～より良い学校作りのために～

学校運営スローガン

『夢 感動 感謝 誇り』

生徒会スローガン

『素敵・快適・家族的』



集計方法について

- アンケートのマークシート回答について、「わからない」と「無回答」のものを除外し、「あてはまる」を5点、「ややあてはまる」を4点、「ややあてはまらない」を2点、「あてはまらない」を1点に換算し、「生徒」「保護者」について平均点（5点満点、中間値が3点）を算出しました。

2024年度 学校評価結果のまとめ

早春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また日頃より本校の教育活動にご支援ご協力いただき、誠にありがとうございます。

先日はお忙しいところ学校評価のアンケートにご協力いただきありがとうございました。以下にその結果と読み取った課題や今後の方向性など（*印）について、ご報告いたします。

1 学校生活

生徒より

- ・私は、他の生徒に自分の考えや意見を伝えることができている。(3.79)
- ・私は、学校に行くのが楽しい。(4.07)
- ・私は、集団のルールやマナーを学び、学校生活のきまりを守っている。(4.28)
- ・私は、学校で地震や火事がおこった場合、どうしたらよいか知っている。(3.97)
- ・私は、学校の施設や学校で使う道具・器具が壊れたとき、すぐ先生に知らせている。(4.19)
- ・私は、学校からの連絡プリントを、家庭に渡している。(4.01)
- ・私は、先生や来校者にしっかりとあいさつしている。(4.46)

保護者より

- ・学校は、学校目標（1 開かれた学校教育を推進する 2 人間尊重の心を育てる 3 自ら学び、考え、表現する力を育てる）や経営理念（夢 感動 感謝 誇り）をわかりやすく伝えている。(3.7)
- ・学校の取り組みについて、学校から情報が提供されている。(3.8)
- ・学校独自の特色ある教育活動がおこなわれている。(3.1)
- ・学校は、保護者・地域と連携している。(3.8)
- ・学校は、子どもの安全確保について取り組んでいる。(4.0)
- ・学校では、子どもに関する個人情報を守られている。(4.1)
- ・学校では清掃美化や環境整備がなされている。(4.2)
- ・保護者への連絡や文書が、わかりやすく適切である。(3.8)
- ・学校は、子どもの様子がわかる機会を設けている。(4.0)
- ・子どもが楽しく学校に通っている。(4.1)
- ・家庭では、あいさつの大切さについて話をしている。(4.3)
- ・教職員の対応は、丁寧である。(4.1)

*生徒の「学校に行くのが楽しい」、保護者の「子どもが楽しく学校に通っている」の回答が高い値を示しています。このことは、学校全体として見ても、生徒達は落ち着いて規律ある学校生活が送れていること、清掃美化や環境整備が行き届いていること、さらには、集団のルールやマナーを学び、学校生活のきまりを守っていることへの意識の高さが要因の一つであると捉えています。

*今年度、来校者から、生徒の爽やかなあいさつについて、お褒めの言葉を多数頂いております。このことは、生徒への好印象を与えるものであると同時に、学校への信頼にもつながるものです。生徒の「あいさつ」への意識の高さは、ご家庭でのあいさつの大切さのお話しが充実していることが大きな要因であると捉えています。

*今年度も学校運営協議会を定期的開催し、「地域とともにある学校」に向けて進めてまいりました。「学校独自の特色ある教育活動」については、公立学校で難しい側面もごさいますが、意見交換を重ねながら、少しずつ実践して参ります。

2 授業

生徒より

- ・私は授業をよく理解できている。(3.95)
- ・私は授業で、自分なりに考えをまとめたり、発表したりできている。(3.36)
- ・私は総合的な学習の時間で、幅広い分野の学習や経験ができている。(3.97)
- ・私の学力に対する自己評価は、通知表の成績とだいたい合っている。(3.88)
- ・私は、家庭学習にも意欲的に取り組んでいる。(3.30)

保護者より

- ・家庭では、授業の大切さについて話をしている。(3.8)

・学校は、子どもの学力や努力を適切に評価している。(3.5)

*生徒は、総合的な学習の時間において「幅広い分野の学習や経験」が得られていると肯定的に捉えています。今後も引き続き、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目指して参ります。

*「家庭学習」についての生徒の評価値がやや低めの値を示しています。どの学年も、予習・復習の重要性については伝えているところです。今後は、自分で課題を見つけて解決するなど、主体的に学んでいけるように、ひきつづき学校・家庭・地域が一体となり取り組んで参ります。

3 進路

生徒より

・私は、卒業後の進路について学校からの情報をもとに考えることができている。(3.58)

・私は、「特別の教科道徳」や「総合的な学習の時間」などを通して、将来の進路や生き方について考えている。(3.81)

保護者より

・学校は、子どもの将来や職業などについて指導を行っている。(3.6)

・学校は進路に関して、家庭への連絡や情報提供を行っている。(3.7)

*生徒が「将来の進路や生き方」について学ぶ機会は重要であると捉えています。引き続き、生徒一人一人が自分らしく生きるために、「学び続けたい」「働き続けたい」という思いを持ち、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な能力や態度を育てることを目指して参ります。

*進路に関する情報提供においては、3年生を中心に、定期的な「学年だより」等にて周知させているところです。今後も引き続き、それぞれの学年において必要な進路情報を提供できるように努めてまいります。

4 行事・生徒会

生徒より

・私は、学校行事(体育祭、文歌祭、宿泊行事等)を楽しんでいる。(4.57)

・私は、生徒会活動や委員会活動に活発に参加している。(3.37)

・私は、積極的に清掃活動に参加している。(4.05)

・私は、部活動または、地域でのクラブ活動等に楽しく参加している。(4.16)

保護者より

・学校は、子どもの質問や意見を聞く機会を設けている。(3.7)

・子どもが、文化祭、体育祭、宿泊行事などの学校行事を楽しみにして、積極的に参加している。(4.2)

・子どもが、積極的に部活動に取り組んでいる。(3.8)

*社会的には、コロナの5類感染症への移行後の学校教育活動のあり方については、真に必要なものを積極的に実施することが求めています。その中で、本校として、「多様な集団編成による学習」「全校一斉参加をともなう学校行事」の重要性を意識し、取り組んで参りました。今年度の学校行事(体育祭、文歌祭、宿泊行事等)に対し、生徒及び保護者からの数値が高く、肯定的に捉えて頂いていることに感謝致します。

*生徒会活動については、専門委員会も含め、今年度も生徒が主体的に取り組んで参りました。生徒会は年間を通じて、生徒の自発的な意見に耳を傾け、中央議会においても様々な角度から議論を深めてきました。中でも、「校則」については、かなりの時間をかけ、今の自分たちの足下を見据え、どのようなルールがふさわしいのか、意見を出し合いました。これからも、生徒が磨く「校則」に更新されていくことが今から楽しみです。



体育祭の様子

5 生徒指導・支援

生徒より

- ・私は、学校で命の大切さや人の生き方、豊かな心のあり方について学んでいる。(4.14)
- ・私には、学校の中で相談できる人がいる。(3.91)
- ・私は、自分のまわりでいじめや暴力がなくなる(起こらない)ように取り組んでいる。(3.76)
- ・私は、クラスウィークなどでいろいろな悩みや相談を学校にできている。(3.71)

保護者より

- ・学校はいじめや暴力がない学校づくりに取り組んでいる。(3.8)
- ・学校は、命の大切さや社会のルール・マナーについて指導をおこなっている。(3.9)
- ・学校は、子どものまちがった行動を適切に指導している。(3.7)
- ・学校は、子どもの悩みや問題に対して、適切に対応している。(3.5)

*学校における道徳教育(「命の大切さや人の生き方、豊かな心のあり方」を含む)は、「特別の教科道徳」を要として学校の教育活動全体を通じて行っております。今後も引き続き、道徳科はもとより、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて、生徒の発達段階を考慮して、適切に指導を継続して参ります。

*生徒指導支援部を中心に、定例の連絡会を持ち、教職員各々が早期発見と迅速対応を意識し、日頃から生徒たちの様子の変化を敏感に感じ取れるよう努めております。今後も引き続き、「笑顔あふれる羽鳥中をつくるためのいじめ防止対策基本方針」に基づき、クラスウィークでの個別面談を活かし、生徒が抱えている悩みや苦しみに寄り添うことで、「いじめや暴力があったら必ず解決する」という姿勢を教員側から示していくことに尽力して参ります。

*学校だけでなく、保護者や地域の方々とも連携して、生徒たちが安心して安全に過ごしていけるように、これからも全生徒・全教職員で取り組んでまいります。

【保護者の皆さんからのご意見】

*防災用ヘルメットの常備義務について(要望)

ご要望ありがとうございます。昨年8月、気象庁から、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が発表され、本校においても、あらためて地震への備えの再点検を含めた防災意識について、再認識をしたところでございます。今後は、生徒の安全について十分に配慮して教育活動を行うため、防災用ヘルメットの常備義務についても検討して参ります。

【学校運営協議会委員の方のご意見】

- ・生徒の「学校に行くのが楽しい」、保護者の「子どもが楽しく学校に通っている」の回答が高い値を示していることは、とても好感が持てる。継続してもらいたい。
- ・「学校の取り組みについて、学校から情報が提供されている」ことについては、生徒・保護者ともに一定の理解は得られているところですが、紙媒体での情報提供にとどまらず、電子媒体等を活用していく必要がある。
- ・防災への意識を高めていこうとする学校の方針に賛同したい。その一方で、地震や火事等が、通学または下校途中に起きた場合を想定した訓練も必要ではないか。また、救命救急講習を必須で受講する組織を作って頂きたい。

最後に より良い学校作りのために学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。貴重なご意見を参考にして、さらにより良い学校作りを目指していきたいと思っております。来年度も羽鳥中学校の教育活動にさらなるご協力をよろしく願いたします。

